

【概要】

令和4年度国有林野等所在市町村長有志協議会（福島県中通りブロック）

1. 日 時：令和4年10月31日（月）14:00～16:00
2. 場 所：福島県農業総合センター多目的ホール（郡山市日和田町高倉字下中道116番地）
3. 出席者：別紙出席者名簿のとおり

4. 概 要

（1）情報提供

- ・福島県中通りの福島署、福島署白河支署、棚倉署の各署長から、各署における今年度の取り組み等について資料に基づき説明。
- ・森林放射性物質汚染対策センター所長から、「国有林における放射性物質汚染対策に係る取組」について資料に基づき説明。
- ・関東森林管理局から、「木材利用の情勢等」並びに「令和5年度林野庁関係予算概算要求の概要」について資料に基づき説明。
- ・福島県森林計画課から、「林業アカデミーふくしま」の令和4年度の研修概要、研修内容、研修施設の概要について資料に基づき説明。

福島県製作の「林業アカデミーふくしま」に関するPRビデオを2本上映

（2）国有林野事業に対する事前聴取意見への回答

国有林野事業全般に対し、市町村から事前に提出のあった御意見・御要望に対して、資料に基づき回答。

（3）意見交換

- ・出席者から、以下のような御意見・御質問が出され、森林管理局・署等から回答した。

Q（関東森林管理局）

「林業アカデミーふくしま」の研修メニューの講座につきまして、どのような方を講師（先生）として運営をされているのか教えていただきたい。

A（福島県森林計画課）

「林業アカデミーふくしま」の講師につきましては、職員が専門的な技術をまかなうというのはなかなか難しいことから、大学の先生や林業事業体のプロフェッショナルな方の指導を仰いだり、国の研究機関などの専門的知識を有している方をお願いして講義を行っています。研修期間の大部分は専門の方をお願いしているところです。

（関東森林管理局）

今後、いろいろ高度な講座に取り組まれると思いますが、国有林サイドとしてもお手伝いできることがあれば、できるかぎりの対応を取らせていただきたいと思います。

Q（古殿町）

今年度林野庁が実施する「新しい林業に向けた経営モデル実証事業」に古殿モデルが採用され、IT化や高度な機械化、持続的森林を証明するためのトレーサビリティの試行に挑戦することになっています。森林管理のIT化を中心に福島森林管理署白河支署にも参画いただき、国有林と民有林の連携を進めて行きたいと考えています。

A（福島署白河支署）

新しい林業実行プランについては関東森林管理局主導の下、色々な形で種々の事業に取り組んでいるところです。白河支署としても早期的に事業を発注する中で、安定した事業確保、担い手育成にご協力させていただきながら、町からそのようなお話しがあれば連携という形で事業を進めてまいりたいと考えています。

以上